

キャラクター名	プレイヤー名
スロール・ウルフハンマー	

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	15
サポートクラス	グラディエーター	Lv.1:	グラディエーター	性別	男
称号クラス				年齢	27
種族	オウガ			境遇	大成功
出自(効果)	英雄			目標	無目的

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	51	23	20	6	7	41	7
ボーナス	17	7	6	2	2	13	2
クラス修正	1	2	1	0	0	1	1
他修正							
能力値	18	9	7	2	2	14	3

HP	180
MP	129
フェイト	7

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ウースラド(グレートアックス)	至近	0	11	0	0	0	0	0
左手									
頭部	ファインクロスヘルム				-1	9			
胸部	ジルコニアアーマー				-2	16			-2
補助	リンメルポイントアーマー				-1	9			-1
装身具	ファイターズジュエル		2						
能力値			9	0	7	0	14	9	23
スキル	ウェポンルーラー		2						
その他	フェイス：ダグデモア							2	
総計(右)			13	11					
総計(左)					3	34	14	11	20
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	2			2	+ 2 d
トラップ解除	9			9	+ 2 d
危険感知	2			2	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
HPポーション	
ハイMPポーション	
ポーションホルダー	
万能薬	
騎乗用名狼(名馬)	
折れた刀	
緑色の玉	
肉	
至高の料理	

現在重量：	53	所持金：	5056	預金・借金：	
最大重量：	56				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
タフネス	★	-	パッシブ	-	-	-		
効果：	有角族、作成時に最大HP+5							
バッシュ	5	4	メジャー	至近	単体	命中判定		
効果：	攻撃のダメージ+(SL)D							
クラン=ベル・スタイル	1		-		自身	自動成功		
効果：	ラウンド終了時に最大HPの半分以上の場合、最大HPの半分にする							
ボルテクスアタック	1	-	DR直後	-	自身	自動成功	リア1回	
効果：	ダメージに+ [CL×10]							
カバーリング	1	2	DR直前	至近	単体	自動成功		
効果：	対象にカバーを行う							
アームマスター：斧	1		パッシブ		自身		斧装備	
効果：	命中判定+1D							
スマッシュ	1	5	マイナー		自身	自動成功		
効果：	白兵攻撃に+筋力							
ワンオンワン	1	10	セットアッププロセス	至近	単体	自動成功		
効果：	複数エナジー状態でも対象を相手に決戦状態にする							
エキサイトバトル	5		パッシブ		自身		決戦	
効果：	白兵攻撃のダメージに+(SL)D							
ラストブロウ	3		DR直前		自身	自動成功	決戦1回	
効果：	白兵攻撃のダメージに+(SL*3)D							
オートガード	3		パッシブ		自身			
効果：	物理防御に+(SL*2)魔法防御に+SL							
ビーストロアー	3	5	セットアッププロセス	至近	範囲(SL*2)体	精神		
効果：	精神対抗で勝利した場合、対象に放心を与える							
パーサーク	3	3	マイナー		自身	自動成功		
効果：	使用禁止 武器ダメージ+(SL*3)リアクション判定-1D							
ヒューリーブラッド	3	3	メインプロセス1回		自身	自動成功		
効果：	HPダメージを受けた直後に使用し、+(SL+2)ダメージ増加する。3回まで重複する。							
アイアンクラッド	5	3	DR直後		自身	自動成功		
効果：	物理ダメージに-SL*3の軽減							

・出自：英雄
オウガにとっては、強さこそが全てだった。
君の両親は多くの冒険者を葬り、オウガたちの中でも一置かれるような存在であり、君にとって両親は間違いなく英雄だった。
しかし二十年前に侵略が始まり、十五年前、最前線であるネビロス国が落された時。
次に侵略者と戦うことになったのは妖魔たちだった。
君の両親もまた侵略者との戦いに赴き、侵略者から種族を守ろうと奮戦した。
しかし、妖魔たちは侵略者たちの圧倒的な数によって瞬く間に殲滅されていく。
君の両親は残った仲間を守ろうと戦っていたが追い詰められる。君は傷ついた両親を守ろうといつの間にか両親の前に立ち、侵略者と向き合っていた。
しかし両親の敵わなかった相手になすすべがあるはずもなく、命を落しそうになる。
だがそこに、一人のヒューリンが現れ君たち家族や仲間の窮地を救ったのだ。
「くくく、すばらしい輝きだ。親を守ろうと立ち向かう子供の秘める輝きは、これほどに強いものなのか！」
その人間は巨大な杭打ち器のような武器を持ち、嗤笑を上げて侵略者を蹂躪していく。
地形すら変わる凄まじい破壊を目にした君は、同行していた別の人間たちに仲間と共に保護される事となった。

・境遇：大成功
君は両親と共に、住む場所を追われた妖魔のためにあてがわれた土地で暮らしていた。
既に世界は、種族の垣根を越えて協力しなければならぬ窮地に陥っており、生き残った妖魔たちもまた、かつては敵対していた者たちと手を結び共に戦っている。
だが、君の両親はまるで協力しようとはせず、くさっていた。
両親は人間に助けられたことで誇りも矜持も失ってしまったのだろう。
君はそんな、かつて憧れていた面影すらなくなりつつある両親に反発し、家を離れ、神の子らが多く住む町へとやってきた。
妖魔である君への風当たりは決して弱くはなかったが、その中で生活し始めた君は、結果的に一定の理解と立場を得ることになる。

